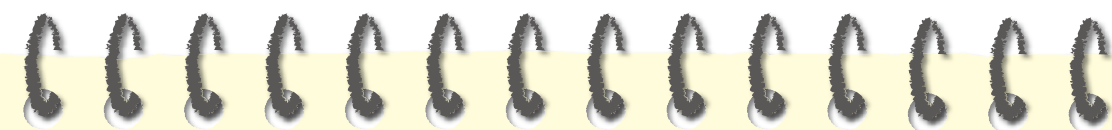




障害をもってから、今までできていたことや昔から好きだった素潜りができなくなり、自分が自分でないような気がしてショックを受けたし、障害者の自分が海に潜ることなんて絶対無理だと思っていました。でも、バリアフリーダイビングのことを知り、実際に潜ってみて、身体が不自由になった今でも海で潜ることがまだできるという

ことを実感し、嬉しさを感じ、「希望」をもたらしてくれました。絵としては、伝わりにくさはあるかもしれませんが、みんなにもバリアフリーダイビングの楽しさを伝えたくて、そのときに見つけた大きなサザエを描くことに決めました。制作時は、サザエの形はゴテゴテして、表現のやり方にも困ったし、複雑な模様を色で表すことも大変でした。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



エミネンス介護老人保健施設 認知症専門棟の入所者様 「起き上がり小法師」

この作品は介護老人保健施設の認知症専門棟に入所されている方々が制作しました。週に1回、6名ほどの利用者様に集まっていただき、約1カ半月ほどで完成しました。新聞紙をちぎり、水と糊を混ぜ紙粘土をつくり、成型し色を染めました。会津の郷土玩具を手づくりすることで会話が弾み、昔の思い出話等にも話題が広がりました。顔を描く工程では、皆さん真剣な表情で取り組み、一つひとつが、表情の異なる味わいある作品になりました。完成した起き上がり小法師は、施設内に飾るだけでなく、利用者様のご家族様にもお渡しし、喜んでいただくことができました。（担当 OT：稲葉智恵里）